

第15回（令和2年度 第1回）新潟市議会 議会報告会 環境建設常任委員会報告

（令和2年2月定例会報告）

1 環境部

地球温暖化対策実行計画推進事業（573万3千円）

ア 内容

クール チョイス

地球温暖化対策実行計画（地域推進版）を推進するため、地域版 COOL CHOICE 推進チームの設置や地球温暖化対策地域推進協議会の運営等、各種取り組みにより市民・事業者との連携・協働を強化する。

※COOL CHOICE とは：低炭素型の製品・サービス・ライフスタイルなど、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」を促す国民運動。

イ 委員会での主な意見等

EV（電気自動車）・FCV（燃料電池車）の普及啓発をより一層推進されるとともに、環境モデル都市としての本市独自の政策実現を要望する。

2 都市政策部

生活交通確保維持・強化事業（3億6,575万5千円）

ア 内容

不採算バス路線や住民バスへの補助、区バスへの小型ノンステップバス車両の導入や区バス・住民バスの機能強化に向けた社会実験など、引き続き地域内交通の改善・強化に取り組む。

イ 委員会での主な意見等

誰もが快適に移動できる安心・安全な交通体制の整備へ、収支率・収益性のみにとらわれることなく、デマンド交通の検証、区バスや住民バスの利用環境の整備等、利便性の向上に積極的に取り組み、地域住民の移動手段の維持を望む。

3 建築部

子育て・高齢者支援健幸すまいリフォーム助成事業（8,000万円）

ア 内容

子どもを安心して産み育てられ、高齢者が健康で幸せに暮らせる住環境を創出することを目的として、既存住宅のバリアフリーリフォーム・子育て対応リフォーム・温熱環境改善リフォーム及びそれに併せて行う居住環境や住宅機能の維持・向上のための住宅リフォームの工事費用の一部を助成する。

イ 委員会での主な意見等

- ・地域の産業振興や本市の税収増を見込む上でも良い施策であり評価する。
- ・気候危機対策の観点からCO₂対策として断熱化等の事業も拡大するよう再構築されたい。

4 土木部

公園緑地等の管理運営事業（6億2,055万2千円）

ア 内容

トイレ、園路など公園施設のバリアフリー化を推進し、長寿命化計画に基づき遊具等の更新・改修を行い、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを進める。

イ 委員会での主な意見等

危険な遊具等の撤去・改修は、公園利用者の安全確保には不可欠なものであり、速やかな全ての実施を要望する。

5 下水道部

下水道事業会計全体（679億9,061万1千円）

ア 内容

将来に渡り良質な下水道サービスを安定して提供できるよう、経営効率化による経営基盤の強化に努める。また、下水道中期ビジョンに基づき、ストックマネジメントによる下水道施設の機能確保を図る他、浸水対策、地震対策や処理区域の拡大等に取り組む。

イ 委員会での主な意見等

人口減少により将来利益が上がらなくなると、使用料の値上げをしなければならなくなるため、今後の定住人口増減をしっかりと考え努力されたい。

6 水道局

水質管理の充実・強化事業（5,603万9千円）

ア 内容

水質検査機器の計画的な更新・整備により、市内7か所の全浄水場で、法で定める水質基準を達成し、市民により安全でおいしい水道水の供給に取り組む。

イ 委員会での主な意見等

国が定めた水質基準値よりも厳しい本市独自の安全性とおいしさの基準である管理目標値を設けることにより、より安全で日本一おいしい水道水の供給に努められたい。

7 区役所

交通安全施設整備事業（8区合計 6億1,664万円）

ア 内容

ゆとりと安心のみちづくりを基本として、カーブミラーや道路照明等の交通安全施設を維持・整備し、交通事故防止に努める。また、自転車駐車場の管理運営や放置自転車対策等を実施する。

イ 委員会での主な意見等

- ・十分とは言えない維持費の中で、市民の要望に寄り添い積極的に応えようとする姿勢を評価する。
- ・安心安全のため、今後もスピード感を持った交通安全施設の整備及び管理を要望する。